

## 釧路湿原自然再生協議会再生普及小委員会

### 第 15 回 湿原学習のための学校支援ワーキンググループ

日時： 令和 4 年 8 月 5 日（金） 14：00～16：00

場所： 釧路地方合同庁舎 5 階 第一会議室

#### ----- 議 事 次 第 -----

1. 開 会
2. 議 事
  - 1) ワーキンググループの取組報告
3. その他
4. 閉 会

#### ----- 配布資料一覧 -----

#### ○第 15 回湿原学習のための学校支援ワーキンググループ 資料

- ・ 資料 1           ワーキンググループの取組報告
- ・ 参考資料 1   湿原学習のための学校支援ワーキンググループの設置について
- ・ 参考資料 2   「湿原学習のための学校支援ワーキンググループ」の取組み課題
- ・ 別添資料     カヌーガイドライン   ポケット版

## 出席者名簿（敬称略・順不同）

### < 専門家 >

| 所属等           | 氏 名     |
|---------------|---------|
| 再生普及小委員会委員長   | 高橋 忠一 ○ |
| 北海道教育大学釧路校 教授 | 境 智洋 ○  |

### < 学校教員 >

| 所属等       | 氏 名      |
|-----------|----------|
| 釧路市立中央小学校 | 前田 進太郎 ○ |
|           | 石川 慎悟 ○  |
| 釧路市立新陽小学校 | 柴田 康吉 ○  |
|           | 大澤 純平 ○  |
| 釧路町立別保小学校 | 市橋 快斗 ○  |
| 標茶町立標茶小学校 | 福岡 徹 ○   |
| 鶴居村立幌呂中学校 | 長谷 泰昌    |

### < 学校教育行政機関等 >

| 機 関 名                     | 氏 名           |
|---------------------------|---------------|
| 北海道教育庁釧路教育局 教育支援課 社会教育指導班 | 主査 森 健太郎      |
| 釧路市教育委員会 学校教育部 教育支援課      | 指導主事 関本 裕介    |
| 釧路町教育委員会 教育部 指導主事室        | 室長 國井 彩子 ○    |
| 標茶町教育委員会 指導室              | 指導室長 秋山 豊     |
| 弟子屈町教育委員会 指導室             | 指導室長 武田 進一 ○  |
| 鶴居村教育委員会 管理課 学校教育係        | 係長 清野 玲子      |
| 釧路湿原国立公園連絡協議会             | 事務局次長 元岡 直子 ○ |
|                           | 事務局員 松橋 由希 ○  |
| 釧路市こども遊学館                 | 事務局長 小笠原 忍 ○  |
|                           | 学習担当 古野 峻也 ○  |

### < 事務局 >

| 機 関 名                   | 氏 名            |
|-------------------------|----------------|
| 環境省北海道地方環境事務所 釧路自然環境事務所 | 自然保護官 瀧口 さやか ○ |
|                         | 係員 岩下 美杜 ○     |
| 公益財団法人北海道環境財団           | 環境教育課長 山本 泰志 ○ |
|                         | 環境教育課 安田 智子 ○  |

## ワーキンググループの取組報告

第14回ワーキンググループ（R4.1）以降の取組みは以下のとおり。

### 1. 湿原を題材とした学習素材の収集、活用の促進

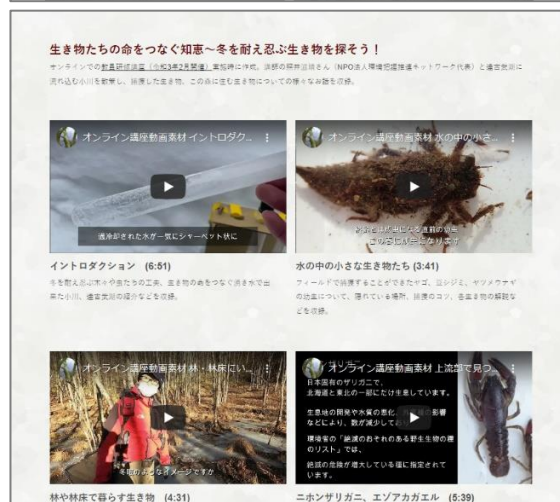
○映像資料等のとりまとめ、学校への周知・提供

湿原を題材とした学習に取り組む学校を主な対象として映像資料をWEBサイトにとりまとめ、授業での活用促進を図る。

- ・映像資料のWEBページ公開、資料追加 ([kushiro-ee.jp/movie/index.html](http://kushiro-ee.jp/movie/index.html))
- ・今後ページの周知にも取り組んでいく。

（現在公開中の映像一覧） ※追加：前回WG以降に追加した映像資料

- 木のお医者さん崎川先生に聞いてみよう！
  - ・木にとって大切なもの（追加）
  - ・木が教えてくれること（追加）
  - ・元気な木を見分けてみよう
  - ・湿原のシラカバを観察してみよう
  - ・木が湿原で生きるってどういうこと？
  - ・木の年齢を調べてみよう
  - ・樹木医のお仕事（追加）
  - ・樹木医を目指した理由（追加）
  - ・木を守るために必要なこと（追加）
- 達古武の風景（春～冬）、湧き水
  - ・春の達古武湖
  - ・ヒシ狩りに行ってきました
  - ・わき水をくみにいってきました
  - ・湖の水を取りにいってきました
- 生き物たちの命をつなぐ知恵～冬を耐え忍ぶ生き物を探そう！
  - ・イントロダクション
  - ・水の中の小さな生き物たち
  - ・林や林床に暮らす生き物
  - ・ニホンザリガニ、エゾアカガエル
  - ・沢で捕獲できた魚たち
- 地域とタンチョウのつながり～タンチョウレスキューの現場から
  - ・講座内で視聴した動画（6種類）
  - ・施設や治療道具の紹介（6種類）
  - ・飼育下繁殖個体の解説（4種類）（追加）



- ・モデル授業実施記録の作成・学校への提供
  - 幌呂中学校への提供（※映像は非公開）
    - ・ハンノキ林（堤防沿いの林～枯れ木の林）
    - ・ミズバショウ群生地へ
    - ・湿原の中の川
    - ・ヨシ原 スゲ原



※今後、キャリア教育での活用を想定した「お仕事紹介動画」、モデル授業実施校の学習状況に応じた映像資料等を作成し、活用の促進を図る。

## 2. 自然再生の学校教育への活用促進

自然再生事業が行われているフィールドを活用した授業づくりの支援を行う。

### ○達古武湖自然再生事業地の活用

#### ・標茶町立標茶小学校

##### ➤ フィールドの下見

実施日時：令和4年5月18日 16:00～17:30

実施場所：夢ヶ丘遊歩道、達古武湖（湖畔）

対 象：教員3名

主な内容：フィールド、活動内容の確認



##### ➤ フィールド学習（1回目）

実施日時：令和4年5月27日 9:20～11:25

実施場所：夢ヶ丘遊歩道、達古武湖（湖畔）

対 象：5年生 38名

主な内容：フィールドで出会う多様な事象の観察



##### ➤ フィールド学習（2回目）

実施日時：令和4年8月26日 9:20～11:25（予定）

実施場所：夢ヶ丘遊歩道、達古武湖（湖畔）

対 象：5年生 38名

主な内容：児童の学習テーマを踏まえたフィールドでの活動

### 3. 学校教員の関心喚起、湿原の教育的な価値の普及

○釧路湿原流域環境を題材とした学びのプロセスの支援、発表の場作り

年間を通した授業づくりの支援を行うとともに、学校、施設等と連携し、児童の取り組みを地域に発信する場づくりを行う。

(令和3年度)

- ・発表会のコーディネイト、とりまとめにあたっての助言

研究発表ボードを活用し探求的な学習に取り組む学校を対象に、中間発表会や学習発表会等のコーディネイトを行った。

#### ➤ 釧路市立中央小学校 5年生 中間発表会

実施日時：令和4年1月21日 10:25～12:00

学校訪問：境教授（北海道教育大学）、松橋主事（釧路市環境保全課）、山本（北海道環境財団）

概要：2グループに分かれて行われた各発表に対する助言、質疑後、境教授より総括のコメント

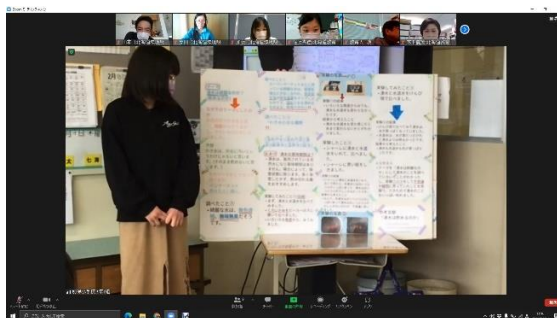


#### ➤ 釧路町立別保小学校 5年生 学習発表会

実施日時：令和4年2月17日 12:50～13:35

リモート参加：境教授・大学院生2名（北海道教育大学）、和田専門員・松橋主事（釧路市環境保全課）、山本・安田・加藤（北海道環境財団）

概要：発表を視聴後、全体へのコメント、境教授より総括のコメント



#### ➤ 標茶立標茶小学校 5年生 学習のふりかえり

実施日時：令和4年3月14日 13:30～14:15

リモート参加：境教授（北海道教育大学）、崎川樹木医、松橋主事（釧路市環境保全課）、山本・安田・加藤（北海道環境財団）

概要：各自で学習発表会の動画を事前に視聴し、各発表および全体へのコメント、境教授より総括のコメント。

授業後、上記参加者に加え、釧路湿原自然保護官事務所職員4名、佐藤主査（釧路市環境保全課）からのコメントをとりまとめて学校に提供



(令和 3 年度)

・学外での発表会の企画

学外での研究発表ボードの展示会「釧路湿原サイエンスフェア」を実施した。

| 実施日                         | 実施場所           | 概要                                                                           |
|-----------------------------|----------------|------------------------------------------------------------------------------|
| 令和 4 年<br>2 月 9 日～2 月 17 日  | 釧路市役所 本庁舎      | 中央小学校の学区内に位置する釧路市役所において、同校から借用した 10 枚の研究発表ボードを展示<br>(協力：釧路湿原国立公園連絡協議会)       |
| 令和 4 年<br>2 月 21 日～2 月 28 日 | 標茶町開発センター      | 標茶小学校の学区内に位置する施設において、同校から借用した 16 枚の研究発表ボードを展示<br>(協力：標茶町教育委員会)               |
| 令和 4 年<br>3 月 1 日～3 月 16 日  | 釧路湿原野生生物保護センター | 中央小学校、別保小学校、標茶小学校から借用した計 36 枚の研究発表ボードを掲載した WEB サイトの案内                        |
| 令和 4 年<br>3 月 2 日～3 月 9 日   | 釧路町役場          | 別保小学校の学区内に位置する釧路町役場において、同校から借用した 10 枚の研究発表ボードを展示<br>(協力：釧路町教育委員会)            |
| 令和 4 年<br>3 月 19 日～4 月 11 日 | 釧路市こども遊学館      | 中央小学校の学区内に位置する施設において、標茶小学校、中央小学校、別保小学校から借用した計 36 枚の研究発表ボードを展示 (協力：釧路市こども遊学館) |



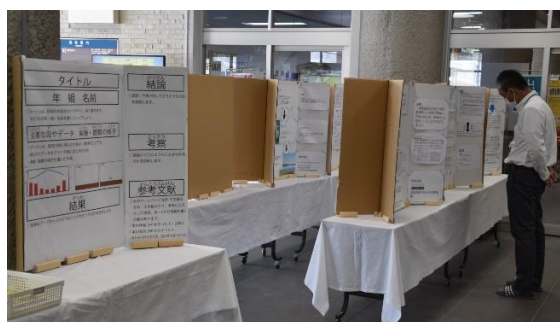
釧路市役所での展示



標茶町開発センターでの展示



釧路湿原野生生物保護センターでの展示



釧路町役場での展示



釧路市こども遊学館での展示



(令和4年度)

・フィールド学習のコーディネート

自然再生事業地や釧路湿原を活用したフィールド学習のコーディネートを行う。

➤ 釧路町立別保小学校 5 年生

フィールドの下見

実施日時：令和4年5月27日 16:00～17:40

実施場所：細岡展望地および周辺フィールド

対 象：教員2名、地域コーディネーター、図書ボランティア

主な内容：フィールド、活動内容の確認

フィールドの学習

実施日時：令和4年6月3日 12:20～14:45

実施場所：細岡展望地および周辺フィールド

対 象：5年生30名

主な内容：湿原景観、竪穴住居跡、丘陵地の森林の観察、湧水量の測定、透水実験



➤ 釧路市立中央小学校 5 年生、6 年生

フィールド学習（1回目）

実施日時：令和4年7月7日

5年生 9:20～11:50

6年生 11:00～14:40

実施場所：温根内木道、温根内ビジターセンター

対 象：5年生23名、6年生17名

主な内容：フィールドで出会う多様な事象の観察、ビジターセンター本藤センター長からのキャリア教育に係る講話（6年生）



フィールド学習（2回目）

実施日時：令和4年8月25日 5年生 9:20～11:50、6年生 13:00～14:30（予定）

実施場所：5年生 温根内木道、6年生 釧路湿原野生生物保護センター

対 象：5年生23名、6年生18名

主な内容：フィールドで出会う多様な事象の観察（5年生）、獣医からのキャリア教育に係る講話（6年生）

➤ 標茶町立標茶小学校 5 年生

※）2. 自然再生の学校教育への活用促進を参照

➤ 鶴居村立幌呂中学校 1, 2 年生

実施日時：令和 4 年 5 月 18 日 9:00～12:00

実施場所：釧路湿原右岸堤防沿いの湿原

対 象：1, 2 年生 4 名

案 内：新庄 久志（釧路国際ウェットランド  
センター技術委員長）

主な内容：簡易調査を行いながら湿原を散策。  
水環境や土砂の流入状況に応じて変  
化していく植生の成立要因を考察。



※令和 4 年度も、児童の学習テーマに応じたフォローアップ、発表会のコーディネート、学外での展示、口頭発表会等の企画調整を行う。

## 釧路湿原自然再生事業 関連情報

### ○釧路市立中央図書館で関係資料が閲覧（貸出）できます

- ・収蔵資料一覧は、自然再生の WEB サイト（<https://www.kushiro-wanda.com/>）に掲載中。
- ・釧路湿原流域自治体のその他の図書館においても、資料収蔵や普及方法について検討中。

### ○カヌーガイドライン（改訂版）を公表しています

- ・自然環境への影響の緩和や適正な利用の促進を図るために平成 16 年度に策定した「釧路川保全と利用のカヌーガイドライン」を令和 3 年度に改訂  
（<https://www.hkd.mlit.go.jp/ks/tisui/qgmend0000000q45.html>）
- ・ガイドラインの浸透、個人個人の行動へ繋げるための普及方策を検討中。

# 湿原学習のための学校支援ワーキンググループの設置について

2015年 7月10日  
釧路湿原自然再生協議会  
再生普及小委員会 決定

## 1. 背景・経緯

- 釧路湿原自然再生協議会（以下、「協議会」）は、第21回会合（2015年3月16日）で第3期釧路湿原自然再生普及行動計画を採択した。
- その際、学校教育を対象とした環境教育の推進を図ってきた「環境教育ワーキンググループ」は第14回（2015年2月5日）を以て終了し、新たに（仮称）「湿原学習のための学校支援ワーキンググループ」を設置して学校教育における湿原の活用を推進していくことが併せて了承された。
- 第25回再生普及小委員会（2015年7月10日）において、名称を「湿原学習のための学校支援ワーキンググループ」とすることとされた。

## 2. 設置目的

- 湿原学習における学校支援を効果的に進めるために、現場教員や学校教育の専門家、教育行政機関等と一層の連携を図ることが可能な体制を構築し、総合学習や教科学習等、学校教育を通じた湿原の活用に向けて、効果的な支援方策の検討、取組みの実践を行い、その成果を踏まえて、流域の学校における普及方策を検討する。

## 3. 構成

- 再生普及小委員会委員長
- 学校教育行政機関、学校教員、北海道教育大学等
- 委員長の判断により必要に応じて関係者に出席を招請
- 事務局は、環境省釧路自然環境事務所（再生普及小委員会事務局）が担当する。

## 4. 会合開催方針

- 年2回程度（主として学校の長期休暇中）、「湿原学習のための学校支援ワーキンググループ会合」の開催を予定する。
- 必要に応じて構成員との意見交換、情報共有を図り、取組みの実践を行う。
- 会合開催状況は、再生普及小委員会に報告する。

## 「湿原学習のための学校支援ワーキンググループ」の取組み課題

2015年 7月10日  
釧路湿原自然再生協議会  
再生普及小委員会 決定

### 1. 湿原を題材とした学習素材の収集、活用の促進

- 湿原を題材とした、学校現場で活用可能な学習素材をとりまとめて情報発信を行うとともに、効果的な支援方策を検討する。
- ※ 学習素材の活用方法の例示、モデル授業の開発と実践、授業実践に必要な資材の貸出等、検討を行った支援方策のうち、着手可能なものから取組みを行い、情報発信および支援の実践を通して活用促進を図る。

### 2. 自然再生の学校教育への活用促進

- 自然再生事業地を学習素材としたモデル授業の検討を行う。
- ※ 学校教育で活用可能なものについて、モデル授業の開発および実践を図る。実践内容、支援メニューをとりまとめて情報発信を行い、活用の促進を図る。

### 3. 学校教員の関心喚起、湿原の教育的な価値の普及

- フィールドを活用した教員研修を教育委員会と連携して企画、実施するとともに、湿原に関係する各種情報、現地見学会やモニタリング等の自然再生への参加機会等の情報を教員に届ける仕組みを検討する。
- ※ 着手可能なものから、随時、情報提供を行う。

### 4. その他

- 上記に関わらず、教育行政機関や学校現場からのニーズ、専門家からの意見を受け、効果的な支援方策を検討する。
- ※ 着手可能なものから支援の実践を行うとともに、情報を随時とりまとめ、学校に対して支援メニューの情報提供を行う。